



阿久根市内唯一の高校「鶴翔高校」
そこで過ごす生徒たちの活躍を紹介します

総合学科の3年生13人 大学入試センター試験に挑む

大 学入試センター試験が1月18（土）・19日（日）に行われ、総合学科アカデミア系列の3年生13人が試験会場の鹿児島純心女子大学で受験しました。

冷え込みが厳しい中でしたが、受験生は全員元気に試験に臨みました。この日のために、年末年始も登校して勉強に励んできました。前日の激励会では校長先生をはじめ、多くの先生方から励ましの言葉をいただきました。試験に臨んだ松尾遼さん（阿久根中出身）は「試験前日はとても緊張しましたが、当日は落ち着いて受験することができました。2次試験に向けて勉強に励みたいです」と語ってくれました。



ふるさとづくり大賞で総務大臣賞を受賞！

こ の表彰は、全国各地でそれぞれのところをよせる地域「ふるさと」をより良くしようと努力している団体や個人に贈られるものです。

本校では、地域の課題を解決するためにさまざまな研究を進めています。今回、5年間にわたって取り組んできた「漁業に被害を与えるウニの活用法の研究成果」で応募し、見事、総務大臣賞を受賞することができました。全国の高校では鶴翔高校だけが選ばれ、1月24日（金）に東京で開催された表彰式には、農業科学科3年の日高翔さん（美里中出身）と春口勇人（出水中出身）さんの2人が参加し、その取り組みと発表が関心を集めました。



阿久根中学校で出前授業

1 月17日（金）、阿久根中学校の1・2年生を対象に出前授業を行いました。卒業生である総合学科3年の平田あやさんによる台湾の高校生との交流報告や、農業科学科の生徒による

海外研修発表など鶴翔高校ならではの授業に、中学生は真剣な表情で耳を傾けていました。発表を行った農業科学科2年の白尾大輝さん（出水中出身）は「中学生に分かりやすいように説明するのが大変でしたが、とてもやりがいを感じました」と語ってくれました。

